

# 緑のセンターだより

NO.122 平成21年5月1日発行

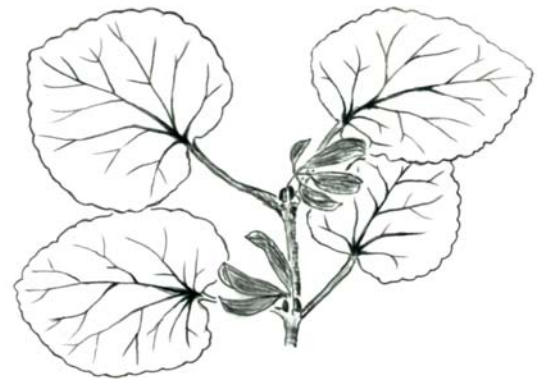
発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## カツラ

*Cercidiphyllum japonicum*  
カツラ科 カツラ属

北海道産広葉樹の中で最も大きくなるカツラは日本の名木であり、北海道全域から鹿児島北部まで分布し、特に東北から北海道に大木が多くあります。日本にはカツラとその枝垂れ型のシダレカツラ、葉が少し大きいヒロハカツラが本州中北部の亜高山帯に分布します。中国中部にカツラの1変種が見られますが日本の準固有種で、英名もカツラ・ツリーで通用します。カツラの学名は、マメ科のハナズオウの葉に似ていることから「*Cercis* (ハナズオウ属)+*phyllon*(葉)」の意味で葉の形や葉脈がよく似ています。

名前の由来は諸説ありますが、カツラは香木の一種で真夏の一時期と黄葉期に醤油かカaramelのような甘い香りを出すことからこの香りが語源とされ、「香出<sup>かづ</sup>ら」からの転訛と言われます。昔は秋にカツラの葉を採取し乾燥・粉末にしてお香(抹香)を作ったことから東北地方などではオコウノキ、マッコウノキ、あるいはこの匂いが醤油のそれに似ていることからショウユギ、ショウユノキ、ミソギなどと呼ぶ地方があると言います。漢字では「桂」や「連香樹」が当てられ、昔はカツラという名前はいま呼んでいるカツラだけでなく、タブとかヤブニッケイなど香気のある樹木をさしたと言われます。ちなみに中国で「桂」はモクセイのことで、景勝地の桂林はキンモクセイが有名で日本で言うカツラから名づけられたものではないそうです。



カツラは沢沿いの肥沃な土壌を好み、高さ30m、直径2m以上にもなる樹種で、円山や藻岩山には多くの巨木が見られます。幹は比較的まっすぐで、多く枝分かれますが、樹の姿は独特の<sup>ほうき</sup> 箒状をしているので遠くからも見分けられます。カツラは頂芽が発達しないので、次の生長期には二股の分枝状となるため樹形が箒状となりやすいのです。葉は対生し円心形でハート型葉形の代表格とされています。樹形も美しく、春の新芽は全体に紅色に染まっているように見え、新芽が開く少し前に小さな花が咲き、同じ紅色をしているので更に強調されます。また芽吹きも小さなハート形の葉がかわいらしく美しいです。



雄花

カツラは雌雄異株で雄株の新芽は雌株よりも一層濃い紅色となるのでこれを緋カツラと呼ぶことがあり、これに対し雌株を青カツラと呼びます。ところが木材関係者の間では材の赤味の多いものを緋カツラ、白っぽいものを青カツラと呼ばれて流通しており、まぎらわしいこともあります。用材としては緋カツラが上等で値段も一段と高値で取引されます。これは産地によって違い、カツラの多い日高産はほとんど緋カツラです。



雌花

カツラは大径木が多く、節などの欠点が少なく大きい寸法の板材をとることができ、材が均質で狂いが少なく細工がしやすいという特徴があります。古くは丸木船、マキリの柄、張板、裁板、版木、仏像などのほか建築、家具材、木型など用途は広く、北海道の碁盤、将棋盤の多くはカツラで、特に赤味の強い緋カツラが高級品とされています。

カツラは四季を通じて色に変化があり、生垣や並木、公園樹として親しまれるほか、各地に大径木が天然記念物の指定を受けたり神木として大切にされており、上の国町愛宕神社の「苦符の桂」、乙部町の「縁結びの桂」、定山溪小金湯の「小金湯桂不動」などが有名です。また並木としては真狩町の道有林が有名です。豊平公園にも林業試験場時代に植えられたカツラ並木があります。(M.S.)

※シダレカツラ: 早池峰山麓で見つかったと言うカツラの変種枝垂れカツラは、盛岡市内に3本の国指定天然記念物があり、その分身が各地に植えられています。

※愛染カツラ: 年配の方ならカツラといえば「愛染かつら」を想い浮かべる人も多いことでしょう。花も嵐も…で一世を風びした愛染桂は長野県別所温泉北向観音の境内にある雄株のカツラで愛染堂の傍にあります。川口松太郎の名作「愛染桂」はこの木からヒントを得たと言われています。

# 5月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。  
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00  
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日  
 ☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜  
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

## ◆ウメ・サクラノボの病害虫防除

果樹には病害虫の種類が多く、適切な防除を行わないと病斑や食痕などの被害を受け、全く収穫できない事もあります。5～6月が病害虫の最も多く発生する時期なので防除しましょう。

### 【ウメ】

#### 1) 縮葉病

葉が赤く火ぶくれ状の奇形になり、やがて枯れて落葉します。菌は枝等に付着して冬を越します。最も防除効果のある薬剤は石灰硫黄合剤ですが、散布は発芽直前の4月中旬までなので今月(5月)は散布できません。罹病葉は取り除き、落花後より殺菌剤を2～3回散布します。モモには特に多く発生します。

#### 2) 黒星病

葉や果実に暗緑色の病斑ができます。新梢にも発生することがあります。4～7月まで発生しますが5月下旬～6月下旬にかけて殺菌剤での防除が効果的です。他の果樹にも共通に発生します。

#### 3) アブラムシ

開花後、新葉が展開する頃から発生します。寄生すると新梢の先端の葉が吸汁されて変形し、赤く変色することもあります。葉の蔭に隠れているので、防除には浸透移行性(葉にしみ込む)殺虫剤が効果的です。リンゴ、ナシなどにも発生します。

#### 4) シンクイムシ

シンクイガが6月中旬～7月上旬に多く発生し幼果に産卵して、その幼虫が果実内に侵入して食害します。発生時期に2～3回殺虫剤を散布します。他の果樹にも共通に発生します。

### 【サクラノボ】

#### 1) 灰星病

花・葉にも発生しますが主に果実が腐敗し、灰色や灰褐色の粉状のカビで覆われます。4月～6月下旬の長期にわたって発生するので、花後、殺菌剤を7～10日おきに3～4回散布します。病原菌は樹上に残った果実で冬を越し、次の開花時に花腐れを起こし、そこから果実に伝染することもあります。古い果実や腐った花がら等はきれいに掃除しましょう。モモにも多く発生します。

#### 2) オウトウミバエ

幼果期の初期(5月中旬)このハエが産卵し幼虫が果実内を食害します。花後、殺虫剤を7～10日おきに、3～4回散布します。

#### 3) オウトウハバチ

黒い1cm足らずのナメクジ状の幼虫で、葉に寄生し葉脈だけを残し網目状に食害します。7月中旬以降に発生しますが、薬剤に弱く発生初期に殺虫剤で防除すると被害は軽くすみます。

※ ケムシ、ハマキムシなど葉を食害する害虫を見たら初期に殺虫剤で防除します。

※ 殺菌剤、殺虫剤を使用する場合、説明書を読んで、果樹の種類や病害虫の種類に応じて、適合するものを使用してください。

## ◆ダッタンソバのこと 教えて!

### Question!

ダッタンソバ茶には高血圧の予防、血糖値を下げる効果があると聞いて飲んでいますが、茶以外にも摂取の方法があるとも聞きました。どのような食べ方があるか教えてください。また、家庭菜園でも作ることができますか。できるものでしたら栽培方法も教えてください。(豊平区 S.B.さん)

**Answer !**

ダッタンソバにはルチンという成分が普通のソバより多く含まれていて、ルチンは毛細血管を強く柔軟にする働きがあり、循環器系の疾患の予防効果が、また血糖値の上昇も抑制する効果や、ルチンの分解物ケルセチンには脳神経細胞を保護する作用があるとの報告もあります。

ダッタンソバは麺、茶、菓子、スプラウト、その他色々な利用方法がありますが、家庭園芸で手軽にできるスプラウトと茶についてご紹介します。

### ＜スプラウトの作り方＞（スプラウト＝新芽、若芽などを意味し、かいわれ、もやし、発芽豆などの総称）

適当な容器（平鉢、育苗トレー、イチゴパック、発砲スチロール空箱などに水抜け穴を空ける）に培養土を 1～2cm ほど平らに入れ、タネを厚めにまき、タネが隠れる程度に土をかぶせ、水をまき、上を布切れや新聞紙などで覆って室温くらいの場所に置き、時々霧吹きで水を与えると2～3 日くらいで発芽します。子葉が開いて5～10cm になったら、1 日くらい日に当て緑化してから摘むか、ハサミなどで切り取って食べます。

### ＜食べ方＞

サラダや刺身の添え、味噌汁の具、おひたし、天ぷらなど色々な方法で食べることができます。野菜畑や庭の隅を軽くおこしてタネを厚めにばらまき混ぜる程度に均すか軽く覆土し、は種後 1 度だけジョウロで灌水しておく数日で発芽してきます。前記と同様に 5～6cm になったら間引くように摘み取って食べられます。

### ＜お茶＞

畑や庭の隅にまいたものを間引いてスプラウトとして摘み取るとき、5cm 間隔の割合で摘み残しておく、どんどん生長して 50～80cm ぐらいになると花が咲き、実がなります。その頃に刈り取って乾燥し小さく刻んで保存しておきます。また完熟したタネを収穫し、保存しておきます。更にタネをフライパンなどで炒るか、爆弾（どん）にして保存しておくこともできます。いずれも土瓶などで番茶のように熱湯を注いで飲みます。

## 病害虫を知ろう! Part2

## うどんこ病 の巻

糸状菌 うどんこ菌科 うどんこ病（*Erysiphe* sp., *Sphaerotheca* sp.など）

### 《 症状と診断 》

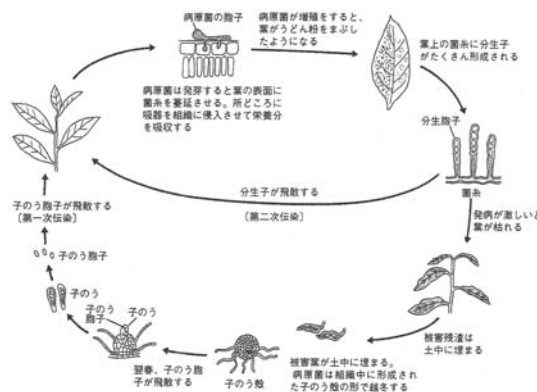
うどんこ病は野菜、草花、観葉植物、樹木、果樹など多くの植物に発生する病気です。最初はうっすらと白いカビの斑点ができ、やがてそれが全面に広がり、白いうどん粉をかけたようになります。この白いうどん粉状のカビは病原菌で、主に葉や茎の表面に菌糸を縦横に伸展させ、所々から菌糸を組織の中に侵入させて植物から栄養分を吸収して増殖しますので、葉や茎が奇形になったりやがて黄色くなったり縮れたりして、ついには枯れることもあります。キュウリ、メロン、エンドウでは葉が黄化して枯れ、またキュウリでは《曲がりキュウリ》になるなど大きい被害となります。発生がひどくなると蕾、花、新芽などにも発病するため、草花、観葉植物や樹木では観賞価値を損ないます。

### 《 発生の時期 》

春から秋に発生しますが、雨や多湿で発生するほかのカビによる病気とは異なり、比較的湿度が低く、やや乾燥気味のときに発生しやすいのが特徴です。そのため、特に初夏や秋に、雨の日と晴れの日が交互に繰り返されると発生が多くなります。また、この病気は比較的高温性で、17～26℃の頃に発生しやすいです。宿根草や樹木が発病すると、冬は症状が見られなくなるものの、翌年再発しやすくなります。更に野菜や草花でも、発病した品種を翌年同じ場所で栽培すると発病しやすくなります。

### 《 防除法 》

- タネ袋やラベルを見て、発病しにくい品種を購入すること。
- 殺菌剤の散布
  - 1、前年に発生し始めた時期に合わせて散布を始めると高い効果が得られます。
  - 2、薬剤は地面に近い植物の下部を重点にして、葉裏にもかかるように丁寧に散布します。
  - 3、市販のサプロール乳剤、カリグリーン、ダコニール 1000 などが有効です。
  - 4、発生初期に殺虫成分を含む黄色粘着テープの設置。
- 生育や観賞に支障がなければ、発病した葉を見つけ次第摘み取り土中深く埋めるか、燃えるゴミとして捨てる。



# 5月～6月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
芝生の庭作り	5月4日（月）	13:30	4月11日～	無料
果樹などの病虫害防除	5月5日（火）	〃	〃	無料
コンテナ（容器）菜園入門	5月15日（金）	〃	〃	無料
トマト・キュウリなどの定植と管理	5月16日（土）	〃	5月12日～	無料
春のミニ盆栽を作ろう	6月7日（日）	〃	〃	材料費 3,000 円
花・野菜・庭木の病虫害防除	6月9日（火）	〃	〃	無料
展示会				
山野草展	5/22（金）～24（日）		協力：北海道山草会	入 場 無 料
さつき 花季展	5/27（水）～31（日） （初日は 13:00 オープン）		協力：札幌さつき会	
バラエティ盆栽展 春の小品盆栽展	6/5（金）～7（日）		協力：札幌盆栽会 札幌小品盆栽会	
斑入り植物展	6/6（土）～7（日）		協力：斑入り愛好会	
現代押し花アート展	6/9（火）～14（日）		協力：日本レミコ押し花学院	
ミニ盆栽展・山草展	6/12（金）～14（日）		協力：札幌草樹会	
クラフト講習会				
あけび工房中級編 ニワトリと鳥の巣かご	5/9（土）、5/17（日）	10:00	4月11日～	2回で 3,500 円
園内自然観察会				
春の観察会	5月17日（日）	10:00	5月12日～	保険代 100 円
その他				
コチョウラン植え替えサービスデー	5月31日（日）	お客様のご家庭のコチョウランを、緑の相談員が植え替え実演しながら、解説いたします。 5月12日から電話でご予約を承ります。 （参加費：材料費実費のみ）		

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

園芸教室	日	時間	申込受付開始	参加費
北国でのセントポーリアの育て方	5月3日（日）	13:00	4月11日～	130円
チューリップを飾るかご作り教室	5月10日（日）	10:30	〃	2,130円
展示会	日		料金	
セントポーリア展	4/28（火）～5/6（水）		入館料 130円	
キッチンガーデン展	5/8（金）～17（日）		〃	
ゼラニウム展	5/12（火）～6/7（日）		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
芝生の庭作り	5月5日(火)	13:30	4月11日～	無料
ツツジ等 花灌木の剪定	5月23日(土)	10:00 13:30	5月12日～	300円
庭木の病虫害防除	5月24日(日)	13:30	〃	無料
マツ類の緑摘み	6月6日(土)	10:00	〃	300円
小型庭木の移植	6月13日(土)	〃	〃	300円
クラフト講習会				
小さなかご(あけびクラフト体験会)	5月23日(土)	11～15時	申込なしで直接会場へ	500円
あけび工房 さくらの枝かご	5月30日(土)	10:00	5月12日～	2,000円
サプライズフラワーアレンジ教室 「緑と白のすがすがしいアレンジ」	6月4日(木)	〃	〃	2,500円

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※